

平成28年度 新人看護職員 月別目標とそれに対する集合研修

	毎月の到達目標	集合研修
4月	病院に慣れる 病院の特徴・構造・設備などを知る、電カルの操作ができる 同期とコミュニケーションが取れる、職員に率先して挨拶が出来る。	電カル・VS・移動・バルン・排泄ケア・褥瘡・採血・注射・血糖測定・インスリン・吸引・酸素・ネブライザー・食事介助・口腔ケア・経管栄養・与薬・麻薬・メンタルサポート
5月	病棟に慣れる、病棟の特徴が理解できる、物品の位置を把握できる、日勤業務の流れが理解できる、バイタル測定が出来る、電子カルテの入力が出来る、先輩と一緒に当日担当患者の観察、生活援助ができる、異常が分かる、週間業務が理解できる、情報収集ができる 患者とコミュニケーションが図れる、処置や介助ではなく看護を1患者に1個以上自分で考える事が出来る	心電図・モニター・輸血・医療機器
6月	先輩と一緒に、患者の症状や訴えを観察し、報告・記録ができる(1部屋)、先輩と一緒に病態生理の関連図が描ける、一日のケアの計画を立てることができる、先輩と一緒に医師回診・処置の見学、介助ができる、先輩と一緒に退院処理ができる、先輩と一緒に内服・注射が手順に沿って確実に投与できる 先輩とコミュニケーションが図れる、処置や介助ではなく看護を1患者に1個以上実施が出来る	プリセブ研修
7月	先輩と一緒に、患者の症状や訴えを観察し、報告・記録ができる(2部屋)、1週間は同室とする、先輩と一緒に1日の看護計画を立案・実施ができる、入院の受け入れが先輩と一緒にできる、医師の回診・処置の介助ができる、指導のもとリーダーへの申し送りができる チームメンバーとしての役割を知ることが出来る、患者の笑顔を見ることが出来る	看取り・急変時・人工呼吸器 リフレッシュ研修
8月	一人で2部屋(補助アサメントなし)受け持つことができる、入退院の処理ができる、受け持ち患者の看護計画が指導のもと立案できる、症状の変化・異常が理解でき報告できる、状況に応じて応援依頼ができる、看護記録が自立できる、リーダーへの申し送りができる 患者と一人でコミュニケーションを十分とることができる。患者の不安が理解出来る	
9月	一人で3部屋(補助アサメントなし)受け持つことができる、看護計画の評価修正が指導のもとできる、休日日勤が指導者と共にできる 指導のもとME機器のアラームの対応ができる 患者の思いや不安に対して傾聴することができる。	
10月	休日日勤が一人で出来る、看護計画の立案実施が一人で出来、指導のもと評価ができる、指導のもと患者や家族の指導ができる、急変が理解でき、応援要請が出来る、指導のもと重症患者の観察ケアができる、麻薬の管理、運用方法が理解出来る。 病棟勉強会で与えられたテーマについて調べてまとめることが出来る	プリセブ研修
11月	指導のもと深夜業務の流れが理解できる、急変が理解でき、応援要請や物品準備ができる、指導のもと重症患者の観察ケアができる 患者の不安や思いに対して傾聴し、受容することが出来、看護計画に反映できる	夜勤前研修 リフレッシュ研修
12月	指導のもと深夜業務ができる、自分の経験していない技術を洗い出し、積極的に関わることができる。看護過程の展開を考えることが出来る、見守りのもとで重症患者の観察ケアが出来る 困難事例に対して、先輩に相談できる	
1月	日常ケアの優先度を決めながら、ケアが出来る。深夜の一人立ちが出来る 患者を個人として尊重出来る、自己の役割と責任を認識出来る	
2月	自己の看護技術の到達度を理解出来る、指導のもと準夜業務の流れを理解出来る 受持ち以外の患者のことも配慮できる。自己の能力を超えた看護を求められた時は相談応援依頼が出来る	プリセブ研修
3月	次年度の課題や目標設定が出来る、指導のもと準夜業務が出来る。経験から継続的に学習することが出来る 関わった患者のことを語ることができ、自己の看護観を考えることが出来る	リフレッシュ研修
4月	準夜業務が一人立ち出来る。患者のニーズが理解でき、個別的に考えることが出来る 看護の喜びを体験出来る	

\* ㊦ はリフレッシュ研修

\* ㊧ はプリセブ研修